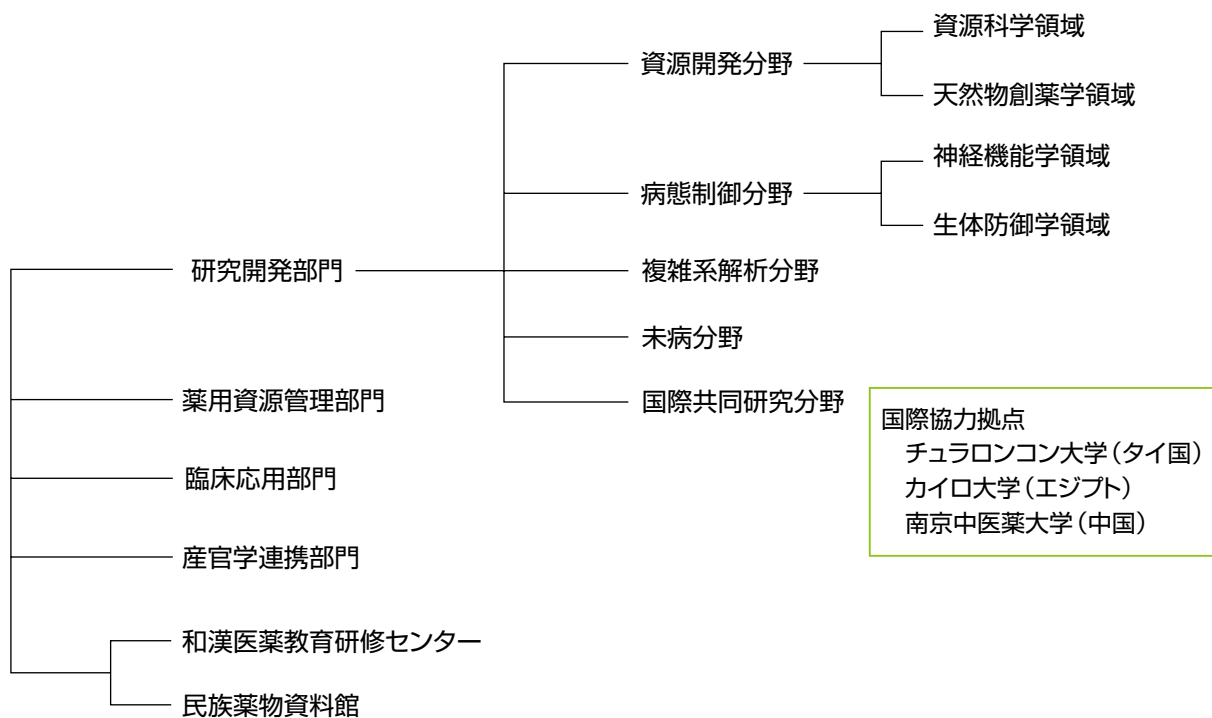


# 和漢医薬学総合研究所

伝統医学は人類が自然の摂理と天然の恵みを巧みに利用し、疾病の予防、治療にあたってきた経験知の集積です。和漢医薬学総合研究所は、現代の先端科学技術を駆使して、和漢薬をはじめとする伝統医学や伝統薬物を科学的に研究し、東洋医学と西洋医学の融合を図り、新しい医薬学体系の構築と自然環境の保全を含めた全人的医療の確立に貢献することを使命として、①天然薬物資源の確保と保全、②和漢医薬学の基礎研究の推進と東西医学の融合、③漢方医学における診断治療体系の客観化と人材の育成、④伝統医薬学研究の中核的情報発信拠点の形成の重点課題を設けて、研究を推進しております。

特に、世界的に問題になっている高齢化の進行、多因子性疾患の増加、及び天然資源の枯渇に鑑み、本研究所では令和2年度から重点研究プロジェクト(高齢者疾患対策研究、代謝・免疫疾患対策研究、未病医療・創薬研究及び資源開発研究[令和5年度現在])を推進し、その成果を社会実装することを目指しています。これらの目標を達成するための組織として、研究開発部門として5分野(資源開発、病態制御、複雑系解析、未病、国際共同研究)が連携し、特に臨床研究への橋渡しを目指した基礎研究や新規メカニズムに基づく創薬基盤の構築を目指した研究を行っています。その他の部門として、薬用資源管理部門では、和漢薬をはじめとする伝統薬物や天然薬物などの薬用資源の管理と維持、さらに天然物創薬を指向してこれらを活用した学内外との共同研究を推進しています。臨床応用、産官学連携の2部門では、本学附属病院や企業と協力して臨床試験や医薬品候補の発掘を推進しています。加えて、和漢医薬教育研修センターでは漢方医学教育を実践できる教員の育成とその教育研修システムの確立を目的とした教育研究活動を推進しています。これらの4部門1センターが互いに連携し、東西医学の融合を基盤とした次世代型医療科学を創生して、健康長寿社会の形成に貢献することです。



▲ 脈診



▲ 協定校海外招へい者との協議の様子



▲ 民族薬物資料館見学の様子